



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 103名
 (正会員 102名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

夫人誕生祝: 1日 西村正男君 2日 岡 久治君
 19日 吉岡朋美君 26日 植田(昭)君 27日 田
 淵亮達君 30日 小谷維夫君
 結婚記念日祝: 3日 宮永誠治君 4日 岩崎 浩
 君 10日 西上哲弘君 20日 大場英之君 25日
 岩崎 稔君 27日 松本 啓君

会長挨拶

みなさん こんにちは

今日は、職業奉仕のみなさんのプログラムで、職場訪問として山陰労災病院で健康診断を受ける日でございます。大野院長先生には大変お世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

今日、お話ししたいことは、本日の健康診断に関連したことで、先般出版された本「沈みゆく大国アメリカ」(逃げ切れ日本の医療)についてです。この本は、堤未果さんという方が、書かれたものです。この方のお父さんは、米子東RCでも卓話をされた方です。ジャーナリストとして結構有名な方でしたが、その人の娘さんが、同じようにジャーナリストになり「貧国大国アメリカ」という本を書かれて、ベストセラーになりました。これは、アメリカの経済とか政治の事をテーマに、シリーズ化したものです。

その堤さんが今回、医療をテーマに本を書かれました。この中で、日本とアメリカの医療の違いが、随分出てきます。「日本の介護保険制度は素晴らしい」ということが、書かれています。アメリカでは、盲腸の手術が200万円です。保険に入っていないと受けられない、ということが書かれています。

私が気づかされたのは、「予防医療ということがすごく重要だ」ということです。昨年は、宮本会員が健康診断を受けて、早期発見に繋がりました。その前の年には、私も人間ドックを受けて3箇所悪いところが見つかり、2回手術をしたことがありました。何が起るのかわからないのが現実です。若い方もいらっしゃると思いますが、事前チェックを受けられてはいかがでしょうか。

予防医学ということで、長野県の地名も出ています。「医療の意識を高めて予防することによって、日本一の長寿村になった」という実話です。私は、都会のビルの中において、孤独で生活していると病気になりやすいのではないかと、と思います。それに対して、我々が住んでいる豊かな自然と素晴らしい友人に恵まれていれば、ストレスも減るのではないかと、と思います。ストレスを解消するコミュニティー社会を作っていくことが、病気にならない一つの方法です。早く検診を受けて、早期発見、早期治療をすることがこれから大切なことだと思います。

自分の体ですので、自分でよく考えて行動していただきたいと、思います。今日は、そういった事を考える一日になればと思っています。ありがとうございました。

幹事報告

1. 本日、例会終了後職場訪問「ミニ人間ドック」
15名参加
2. 本日、新年度理事会 19:00~弓ヶ浜
3. 6/14 中海一斉清掃 会員19名+
長谷川進会員のご家族
4. 6/21 料理教室のご案内 米子国際交流協会より
5. 9/23 第2グループ5RC合同懇親ゴルフ会
(米子南RCホスト 大山平原ゴルフクラブ)
6. 例会変更のお知らせ

米子RC	6/26(金)	夜間例会	ビジター受付	あり
米子南	6/29(月)	〃	〃	あり
米子中央	6/25(木)	休会		なし
境港	6/30(火)	〃		なし



Light up Rotary

ロータリーに輝きを

<プログラム>

山陰労災病院 「ミニ人間ドック」



受診者: 足立(博)君、赤木君、江原君、秦野(愛)君、林君、池淵君、石井君、岩岡君、笠尾君、北沢君、小谷君、小田君、植田(昭)君、山根君、和泉元事務局員